

平成24年度
実施事業

事務事業名 女性の健康づくり事業(女性の健康診査)

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	①各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 7 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部名 保健福祉部 グループ名 健康推進グループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	健診を受ける機会の少ない女性を対象に健康診査を実施することにより、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康保持・増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	健診を受ける機会の少ない女性を対象に、健康診査を実施した。 【事業実績】 ・健診内容 血液検査、尿検査、血圧測定、身体計測 ・実施回数：2回 健診受診数：118人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	生活習慣病の予防には、若い頃から生活習慣の見直しが重要であることから、乳幼児健診等の母親に受診勧奨を実施することにより受診数の促進を目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	健康増進法

事業費(財源内訳)の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称 健康診査受診者負担金	千円	25	30	30	30	30
一般財源	名称	千円	462	640	660	660	660
事業費合計			487	670	690	690	690

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 健康診査受診数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	86	118			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
平成24年度以前は、受診数が少なかった。	受診促進のため、個人通知(健診で有所見が発見されやすい年齢30歳・35歳と過去に健診を受けた女性)を実施した。	

担当グループによる事務事業評価の内容(複数回答可) 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか?	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 健診の機会の少ない若い女性を対象に若いうちから生活習慣病の予防を推進する上で市が実施主体となることは妥当と考える。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか?	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 生活習慣病予防のため、若いうちからの予防は重要であり、家族の健康づくりにも波及効果が考えられることから必要な事業である。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか?	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 健診と実施後の事後指導を一体的に実施することは効率的と考える。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか?	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 受診者については健診をきっかけに健康への意識を高めることはできていると考える。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	検診機会の少ない若い女性を対象としており、自己の生活習慣病の早期発見のため、また、家族の健康づくりにも喚起されることから維持している必要がある。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考	
-----------	----	--

[評価区分]

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)